

市長記者会見資料

「オンラインの居場所」 実証研究の実施

～メタバースを活用した
不登校の子どもたちへの新しい支援～



令和6年12月18日

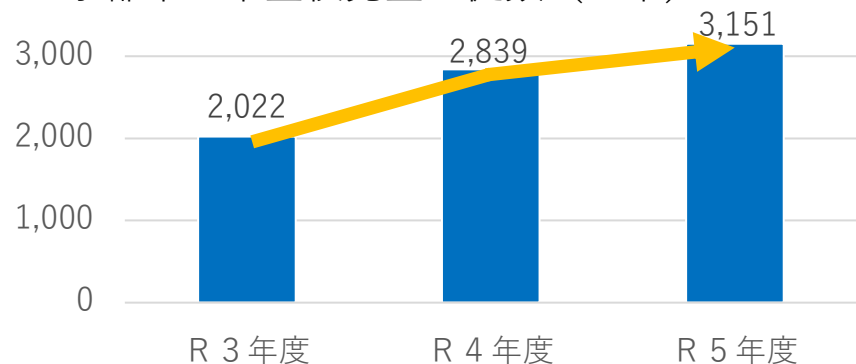
担当課：教育委員会事務局 指導部 生徒指導課

問合せ先：075-213-5622



「オンラインの居場所」 実証研究

■ 京都市の不登校児童生徒数（小中） 単位：人



ペースは鈍化したものの増加傾向
R5前年度比増加率 京都市10.9% 全国15.9%

京都市の主な不登校児童生徒支援施策



学びの多様化学校



こどもパトナ



ふれあいの杜



校内サポートルーム

オンラインの居場所（メタバース）実証研究

京都市の主な不登校児童生徒支援施策に加え、メタバース等 ICT を活用した学びの継続と居場所づくりの在り方を研究

- 令和6年10月からふれあいの杜通級生約40名が参加
- 試行実施の内容（毎週水曜日の午後を開講）
 - ・ 通信環境やシステムの動作環境面での課題把握
 - ・ 児童生徒や保護者へのアンケート調査の実施





「オンラインの居場所」の特徴は？

1 子どもの参加意欲をかき立てる学習テーマ

- 😊 理科、防災、プログラミングなど、多様なテーマで展開
- 😊 自宅でもできる簡単な実験や工作なども取り入れ、達成感を重視

2 オンライン環境ならではのコミュニケーションの広がり

- 😊 対面の会話が苦手 → チャットの文章で交流可能
- 😊 顔を出すのが恥ずかしい → カメラはオフのままでも参加可能

今後の学習テーマ（予定）	試行実施での学習テーマ
★ 伝統文化教育 ★ 消費者教育 ★ 外国語教育	★ 理科教育 ★ 防災教育 ★ プログラミング教育

令和6年10月から教育支援センター「ふれあいの杜」通級生を対象に試行実施。



「オンラインの居場所」のイメージ

コンピューター上の仮想空間で授業 匿名・カメラオフで参加可能

身近な科学

みんなの周りにはたくさんの科学技術が活用されているよね!!

科学技術と聞いて思い浮かぶことはなんだろう?

マイクをオンにするかチャットに書いて紹介してみよう!!

5分

授業スペース

すべて パブリック メンション

コンピューター 2

数秒前

スマホ、アイパッドとかが浮かびます 2

数秒前

宇宙 2

数秒前

電子レンジ 2

数秒前

Rocket 2

チャットで交流



試行実施参加者の声

児童生徒

(回答数46)

- ★ 人が実際に目の前にいないので、緊張せず参加できた。
- ★ いろいろな人の意見を知ることができた。
- ★ 「楽しかった」「まあまあ楽しかった」89%

保護者

(回答数13)

- ★ 久しぶりに同年代の子たちと話した。
- ★ 授業内容等嬉しそうに話してくれる。
- ★ 子どもに良い変化があった62%

令和6年10月から教育支援センター「ふれあいの杜」通級生を対象に試行実施。



「オンラインの居場所」のねらいは？

子どもたちの社会的自立に向けて支援施策の入口となること

- 😊 参加しやすいオンラインの優位性を生かし、オンライン上の学習や交流を通じて、自己有用感や人とつながる楽しさを体感し、実体験への興味関心を養う。



「ふれあいの杜」等支援施策へつなぐ

オンラインの居場所から実体験への接続

(教育支援センター「ふれあいの杜」通級生を対象とした試行実施での取組)

オンラインの居場所
理科教育学習

京都市青少年科学センター学習
(ふれあいの杜校外学習)

京都館PLUS X (京都市のメタバース空間) で学習を深める





実証研究参加者を募集します！

実施日

令和7年1月8日（水）～同年3月12日（水）全10回
毎週水曜日 午後1時から午後3時（3時30分までメタバース開放）
※ 上記実施日とは別に臨床心理士による保護者相談を実施予定。

対象要件

以下の要件をすべて満たす方

- ① 京都市立小学校4年生から中学校3年生までに在籍する児童生徒であること。
- ② 不安や緊張が高く登校したくても登校できない状態であること。
- ③ 在籍校の取組では不登校の状況が改善せず、長期（30日以上を目安）にわたり不登校状態にあること。
- ④ 周囲の子どもの学習活動に支障をきたす恐れのないこと。
- ⑤ 学校長において、オンラインの居場所の利用が当該児童生徒の社会的自立に寄与すると判断すること。

定員等

募集定員40名程度。参加費は無料です。
ご参加に当たって、事業に関するアンケートにご協力をお願いします。

参加ご希望の方は、在籍校までご相談ください。